

| 月 | 2020年度 1年 生活科 年間指導計画 80時間 |
|-----|--|
| 4月 | |
| 5月 | |
| 6月 | <p>なかよしいっぱい だいさくせん⑰ 内容(1)(8)</p> <p>はっけん・たんけん 学校のひみつ・つうがくるのひみつ</p> |
| 7月 | <p>いろんなものやいろんな人がいて うれしいな</p> <p>※スタートカリ「わくわくタイム」幼児期に身につけた力を発揮し、主体的な学びを作っていく時間</p> |
| 8月 | <p>生活科を中心として、様々な教科等と合科関連を図り、教科学習に円滑に移行していくための時間</p> |
| 9月 | <p>みんなの にこにこ だいさくせんⅠ④ 内容(2) 家族がにこにこするのはどんな時? おうちにいるときにみつけた 家族のすてきなところをお</p> <p>なつだいすき⑥ 内容(5)(6) つめたい土はきもちいいね 水もつかって みよう 土も水もだいすき</p> |
| 10月 | <p>あきもだいすき⑮ 内容(5)(6)(8)</p> <p>風がすずしくなってきたよ 木の実をみつけたよ アサガオのつるであそべるかな。公園にあったつるの方が太くてあそべそう。 いろんな草や木のみやはっぱであそべそう。 公園で保育園の子に会ったよ。いっしょにどんぐりみつけたよ。 自分で発明したあそびをおしらせして、もっとたのしくあそぼう。</p> |
| 11月 | |

備考

A校の教育課程全体で育てたい資質・能力は「主体的・自発的な力」なので、単元の軽重をかける際には、その点を軸として考える。

(休業中に)「にこにこさがしカード」を課題に出しておく

内容(7) 飼育栽培は2年間にわたり扱うことになっている。

今年度は(7)に関わる学習の時間を少なめにし(1)を扱う時間を増やし、まず学校に安心感をもてるようにする。

※A校では休業期間中に担任から家庭訪問時に種のプレゼントをしたので、家庭での栽培の様子を学校で共有するという形で時間を削減

夏休みに入る前に再度「にこにこ大作戦」の呼びかけをする。個人面談で保護者にも伝える

内容(8)は後期で。まずは自分のやりたいことをみつけたり発信したりすることをねらいに。

例年1年生で行っている飼育小屋のうさぎとのふれあいは 秋以降もしくは次年度に扱う

あきみつけの活動で、昆虫との出会いがあり子どもたちの興味が向くようなら飼育活動を帯で取り入れることも考えられる。

学校の敷地内で、秋を感じる活動ができれば公園へあえていく必要はない

園児との交流のきっかけは、その時の状況で考える。交流ありきの秋の活動にしないよう気を付ける。

| | | |
|------------|--|--|
| | | |
| 12月 (7) | | <p>おおきくなあれⅡ ⑥内容 (5) (8) (7)</p> <p>こんどはみんなですだてよう。</p> <p>春にさくのはどんな花があるのかな</p> <p>おせわをしよう</p> |
| 1月 (8) | <p>ふゆもだいすき⑧ 内容 (5) (8)</p> <p>風がつよくて、くるくるビニルがとんでいったよ。さむいけれど風とおいかけっことはおもしろいね。風レースをしたよ</p> | <p>みんなのにこにこだいさくせんⅡ ④ 内容 (2) (9)</p> <p>かぞくのにこにこふえたかな</p> <p>げんきでいたり、自分のことを自分ですることでも、にこにこがふえるんだね</p> |
| 2月 (10) | <p>もうすぐみんな2年生 ⑮ 内容 (1) (8) (9)</p> <p>学校でもにこにこがふえたよ。 できるようになったこといろいろあるね</p> <p>ありがとう〇〇さん</p> <p>いろんなわくわくみつけたね</p> <p>1年前をおもいだそう。 こんどの1年生のどきどきをわくわくにする作戦</p> | <p>「にこにこ大作戦の」まとめや振り返りをきっかけとして、「もうすぐみんな2年生」の単元をスタートするイメージで。</p> <p>6年生ありがとう</p> <p>花のみちでおいわいしよう</p> |
| 3月 (6) | | |

冬休みに入る前に再度「にこにこ大作戦」の呼びかけをする。個人面談で保護者にも伝える年間を通して家庭での活動を学校で朝の会等で報告する活動を入れるなどして、意識の継続を図っていく。

「にこにこ大作戦の」まとめや振り返りをきっかけとして、「もうすぐみんな2年生」の単元をスタートするイメージで。